オンプレミス型セキュリティ管理ツール

V10 から V11 へのバージョンアップ手順書

第7版

2024 年 12 月 4 日 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

目次

1.(よじめに3
2.	本資料における構成の前提
3.	新バージョンへのバージョンアップフロー5
4.	【STEP1】セキュリティ管理ツールのバックアップ7
5.	【STEP2】新バージョン対応のミラーサーバーの準備12
6.	【STEP3】サーバーのバージョンアップ32
7.	【STEP4】クライアントのバージョンアップ事前準備50
8.	【STEP5】EM エージェントのバージョンアップ57
9.	【STEP6】 クライアント用プログラムのバージョンアップ63
10	.【STEP7】ESET PROTECT on-prem での管理開始72

1. はじめに

- 1. 本資料は、ESET PROTECT ソリューションをご利用のお客さまがバージョン 11 ヘバージョンアップ する際に必要となる作業や注意事項について記載しています。
- 2. 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。
- 本手順ではプログラムのバージョンアップは上書きインストールにて実施いたします。
 現在ご利用のプログラムが、上書きインストールに対応しているバージョンであるか確認のうえ、
 本手順を実施ください。
 また、ESET Management エージェントのバージョンアップもあわせて実施いただ
 きますようお願いいたします。
 <バージョンアップ対応表>
 https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/eset_be_vup.pdf
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態に問わず、禁じます。 ESET、NOD32、ThreatSense、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Server SecurityESET PROTECT、ESET PROTECT on-prem は、ESET,spol. s. r. o.の商標です。Microsoft、 Windows、Windows Server、Hyper-V、Internet Explorer、Outlook、Windows Live は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標また は商標です。Mac、Mac logo、Mac OS、OS X は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。Android Robot のイラストは、Google が作成、提供しているコンテンツ をベースに変更したもので、クリエイティブ・コモンズの表示 3.0 ライセンスに記載の条件に従って使 用しています。仕様は予告なく変更する場合があります。

2. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、セキュリティ管理ツールを V11 ヘバージョンアップする際のフローや 注意点を記載しております。以下の構成に当てはまらないバージョンや構成におきましても、本資料を 参考にバージョンアップが可能です。上記の場合は読み替えて実施ください。

※お使いのプログラムが本手順にてバージョンアップができる組み合わせかについては事前にご確認をお願 いいたします。詳細は p.3「1. はじめに」の 1-3 をご確認ください

		バージョンアップ前	バージョンアップ後
全体構成		・Windows クライアント、300 台程度管理	・Windows クライアント、300 台程度管理
		・モバイル管理なし	・モバイル管理なし
		・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用	・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用
		・プロキシサーバーなし	・プロキシサーバーなし
		・オールインワンインストーラーを利用してインストール	・既存サーバーを利用
			・各クライアント端末はインターネット接続可能
サーバー用	管理	•ESET PROTECT V10.1	•ESET PROTECT on-prem V11.X
(Windows	~-	・ユーザーズサイトから取得したファイルを IIS で公開	2022 年 5 月 31 日以降公開のミラーツールを
Server 2019)	ミフー	または ESSW V10.0 のミラー機能で公開	IIS を利用して公開
	ウイルス・スパイ	•ESET Server Security for Microsoft	•ESET Server Security for Microsoft
	ウェア対策	Windows Server V10.0	Windows Server V11.X
	管理	・ESET Management エージェント V10.1	・ESET Management エージェント V11.X
ッフ1アンN用 (Windows10)		・ESET Endpoint Security V10.1 または	•ESET Endpoint Security V12.X
(windows10)		ESET Endpoint アンチウイルス V10.1	・ESET Endpoint アンチウイルス V12.X



3. 新バージョンへのバージョンアップフロー

V11 ヘバージョンアップを実施するにあたり必要なステップは、以下の通りです。

【STEP1】 セキュリティ管理ツールのバックアップ

STEP1-1. SQL Server Management Studio 19 のインストール

STEP1-2. セキュリティ管理ツールのサービス停止

STEP1-3. データベースのバックアップ

STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

【STEP2】新バージョン対応のミラーサーバーの準備

STEP2-1. 検出エンジン取得用のミラーツールの設定

STEP2-2. ミラーツールの定期実行をタスクスケジューラに設定

STEP2-3. 検出エンジン配布用の IIS の構築

STEP2-4. 既存ミラーサーバーの無効化

STEP2-5. 新ミラーサーバーの起動

STEP2-6. バージョンアップ前クライアントのアップデート先変更

【STEP3】サーバーのバージョンアップ

STEP3-1. 動作要件の確認

STEP3-2. ESET Server Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ ※ESSW V8.X/V9.X/V10.X をご利用の場合

STEP3-3. ESET PROTECT のバージョンアップ

STEP3-4. データベースのバックアップ

STEP3-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

【STEP4】クライアントのバージョンアップ事前準備

STEP4-1. バージョンアップ完了確認用の動的グループ作成

STEP4-2. 動的グループへのポリシー適用

【STEP5】EM エージェントのバージョンアップ

STEP5-1. クライアントの EM エージェントをバージョンアップ

【STEP6】クライアント用プログラムのバージョンアップ

STEP6-1. 動作要件の確認

STEP6-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

【STEP7】ESET PROTEC on-prem での管理開始



V8/V9/V10をご利用時にミラーサーバーを使用していないお客様は、ミラーサーバーに関する以下の 手順を実施いただく必要はございません。

【STEP2】新バージョン対応のミラーサーバーの準備

【STEP4】 クライアントのバージョンアップ事前準備

STEP4-2. 動的グループへのポリシー適用

4. 【STEP1】 セキュリティ管理ツールのバックアップ

セキュリティ管理ツールのバージョンアップを行う前にデータをフルバックアップしてください。

STEP1-1. SQL Server Management Studio のインストール

1. 以下 URL より、SQL Server Management Studio をダウンロードし、サーバーヘインストールしてください。

<SQL Server Management Studio ダウンロードサイト> https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms ※本手順では SQL Server Management Studio 19 を利用します。 バージョンを指定する場合は、上記リンク内の「以前のバージョン」>「Previous SSMS releases」をクリックし、「以前のリリースの SSMS」より任意のバージョンを選択ください。 ※ご利用の SQL Server のバージョンに対応した SSMS をインストールください。 ※インストール後、再起動が要求された場合は再起動します。

「Microsoft SQL Server Management Studio」を起動できることを確認します。
 ※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。

STEP1-2. セキュリティ管理ツールのサービス停止

サーバーのデータベースのバックアップを取得するために、以下の手順を参照してバージョンアップ前の EP または ESMC のサービスを停止させます。

く注音と	
セキュリティ管理ッ	ソールのサービスを停止するため一時的にクライアントを管理することができません。
サービスが停止し	ている間のクライアントのログはクライアントの EM エージェント自身で保持しており、
サービス記動後に	「通信が確立された段階でヤキュリティ管理ツールにログが送付されます。

 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入 力し、[OK]ボタンをクリックします。

💷 ファイノ	V名を指定して実行 X	
٨	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。	
名前(<u>O</u>):	services.msc 🗸	
	► OK キャンセル 参照(B)	

2. 「ESET PROTECT Server」サービスを選択し、サービスの停止をクリックします。

ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)						
	a 🗟 🚺 🖬 🕨 🖬 🕪						
🔍 サービス (ローカル)	〇 サービス (ローカル)	1					
	ESET PROTECT Server	名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン	
		Diagnostic System Host	Diag	実行中	手動	Local S	
	サービスの停止	Distributed Link Tracking Cli	ネット	実行中	自動	Local S	
	リーヒスの再起動	Q Distributed Transaction Coor	データ	実行中	自動 (遅延開始)	Networ	
		🧛 DNS Client	DNS	実行中	自動 (トリガー開始)	Networ	- 1
	説明:	Downloaded Maps Manager	ダウン		無効	Networ	
	ESET PROTECT Server service.	CERS) Encrypting File System (EFS)	暗号		手動 (トリガー開始)	Local S	
		Enterprise App Managemen	エンタ		手動	Local S	
		SET Firewall Helper		実行中	手動	Local S	
		SET HTTP Server	ESET		手動	Networ	
		🤹 ESET Management Agent	ESET	実行中	自動	Local S	
		ESET PROTECT Server	ESET	実行中	自動 (遅延開始)	Networ	
		ESET Service	ESET	実行中	自動	Local S	
		🔅 Extensible Authentication Pr	拡張		手動	Local S	
		Runction Discovery Provider	FDPH		手動	Local S	
		Sunction Discovery Resource	このコ		手動 (トリガー開始)	Local S	
		Geolocation Service	このサ		無効	Local S	
		🤹 GraphicsPerfSvc	Grap		無効	Local S	
		Group Policy Client	管理	実行中	自動 (トリガー開始)	Local S	
		Human Interface Device Serv	キーボ		手動 (トリガー開始)	Local S	

3. 「ESET PROTECT Server」サービスの状態が空欄になったことを確認します。

F) 採TF(A) 表示(V) ハルン(H)					
ビス (ローカル) ・ サービス (ローカル)					
ESET PROTECT Server	名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン
	Diagnostic System Host	Diag	実行中	手動	Local S
サービスの開始	Distributed Link Tracking Cli	ネット	実行中	自動	Local S
	Distributed Transaction Coor	データ	実行中	自動 (遅延開始)	Networ
	DNS Client	DNS	実行中	自動 (トリガー開始)	Networ
ESET PROTECT Server service.	🤹 Downloaded Maps Manager	ダウン		無効	Networ
	🧟 Encrypting File System (EFS)	暗号		手動 (トリガー開始)	Local S
	🖏 Enterprise App Managemen	エンタ		手動	Local S
	ESET Firewall Helper		実行中	手動	Local S
	SET HTTP Server	ESET		手動	Networ
	🧟 ESET Management Agent	ESET	実行中	自動	Local S
	SET PROTECT Server	ESET		自動 (遅延開始)	Networ
	ESET Service	ESET	実行中	自動	Local S
	Extensible Authentication Pr	拡張		手動	Local S
	Sunction Discovery Provider	FDPH		手動	Local S
	Sunction Discovery Resource	このコ		手動 (トリガー開始)	Local S
	Geolocation Service	このサ		無効	Local S
	CraphicsPerfSvc	Grap		無効	Local S
	Group Policy Client	管理	実行中	自動 (トリガー開始)	Local S
	🦓 Human Interface Device Serv	キーボ		手動 (トリガー開始)	Local S

STEP1-3. データベースのバックアップ

- [Microsoft SQL Server Management Studio]を起動します。
 ※利用するバージョンにより表示される画面が異なる場合がございます。
 ※初めて起動される場合、起動までお時間がかかる場合がございます。
- 2. サーバーへの接続画面で、以下の通り項目を確認して[接続]ボタンをクリックします。

サーバーの種類	データベースエンジン
サーバー名	EP のサーバーで使用しているインスタンス名
	※既定は「コンピューター名¥ERASQL」
認証	Windows 認証



3. オブジェクトエクスプローラーより、[インスタンス名]-[データベース]-[era_db]へ移動します。 「era_db」を右クリックし、[タスク]-[バックアップ]をクリックします。



4. データベースのバックアップ画面で、以下の通り設定し、[OK]ボタンをクリックします。

データベース	era_db
バックアップの種類	完全
バックアップ先	ディスク

🗑 データベースのバックアップ - era	Ldb	-		×
ページの選択 チ 全般	「コンジプト マ ? ハレブ			
▶ メディア オブション ▶ バックアップ オブション	 ソース データベース(T): (第回モデル(M): パックアップの種類(K): □ コピーのみのパックアップ(Y) パックアップ コンボーネント: ④ データベース(B) 			ک ا
ingt	C File および アイル クルースは パックアック先 パックアップ先(U): D ¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL12ERASQLINSTANCEID¥MSSQL¥Backup¥era,db.bak		這加(D)
数数 サーバー: ¥ERASQL 接続: ₩ 接続のプロパティの表示			内容(0)
進行状況				
		OK	キャン	セル

5. 以下のメッセージが表示されたらバックアップは正常に終了しています。 [OK]ボタンをクリックして、閉じます。

Microsoft SQL Server Management Studio	×
データベース 'era_db' のバックアップが正常に完了しました。	
□ メッセージのコピー	ОК

- ※「アクセスが拒否されました」といったエラーが出力された場合は、バックアップファイルの出力先に アクセス権限があるかご確認ください。
- 6. 手順4で作成したバックアップファイルが指定の場所に格納されていることを確認します。

STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

1. 以下のフォルダーの「Startupconfiguration.ini」ファイルをコピーし、任意の場所に保存してください。

<Windows Sever 2012/ Windows Sever 2016/ Windows Sever 2019/ Windows Sever 2022 のディレクトリ>

C: ¥ProgramData¥ESET¥RemoteAdministrator¥Server¥EraSeverApplicationDat a¥Configuration

※[ProgramData]が表示されない場合は、[表示]-[隠しファイル]にチェックを 入れてください。

※Mobile device Connector をインストールしている場合は、以下のフォルダーの

「Startupconfiguration.ini」ファイルもコピーし、任意の場所に保存してください。

Mobile device Connector 自体はサポート終了しておりますので、ご注意ください。

<Windows Sever 2012/ Windows Sever 2016/ Windows Sever 2019/ Windows Sever 2022 のディレクトリ>

 $C: \verb"{ProgramData"} ESET \verb"{RemoteAdministrator"} MDMCore \verb"{Configuration"} Configuration" MDMCore "{Configuration"} Conf$

2. バックアップ完了後、【STEP1-2】を参考に「ESET PROTECT Server」サービスを起動してください。

く注意>

EP on-premV11.X のサポート OS は Windows Server 2012 以降です。 サポート OS に関しては、以下 URL をご確認ください。 https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_era.pdf

く参考>

セキュリティ管理ツールのバージョンアップに失敗した場合、データベースとコンフィグレーションファイルの バックアップを使用して、バージョンアップ前の状態に復元することができます。

<オンプレミス型セキュリティ管理ツールのフルバックアップをする手順、および、リストアする手順について>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/119?site_domain=business

また、バージョンアップ時にデータの引き継ぎに失敗した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

<お問い合わせ窓口(サポートセンター)のご案内> https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business

5.【STEP2】新バージョン対応のミラーサーバーの準備

バージョンアップを行ったクライアントが検出エンジンのアップデートができるように、**ミラーツールを利用しアッ** プデート先(新ミラーサーバー)を用意します。また、この手順でバージョンアップ前のクライアントのアップデ ート先も新ミラーサーバーに変更しておきます。

「2018 年 4 月 9 日以降に公開したミラーツール」をご利用いただきミラーサーバーを構築している場合 は、「2022 年 5 月 31 日以降に公開したミラーツール」に差し替えていただく必要がございます。 ◇使用中のミラーツールを新しいミラーツールに差し替えるには? https://eset-support.canon-its.jp/fag/show/9490?site_domain=business

差し替え完了後、STEP2-1「手順 7」を参照いただき、バッチファイルの内容の修正を行ってください。

STEP2-1. 検出エンジン取得用のミラーツールの設定

バージョンアップ前の環境でプログラムのミラー機能を使用しミラーサーバーを構築していた場合は、 以下の手順でミラーツールを使用したミラーサーバーを構築する必要があります。 ※本手順は、管理者権限を持ったユーザーアカウントで実施してください

- ユーザーズサイトにログインし、2022年5月31日以降公開の「Windows Server 向けミラーツ ール」をダウンロードします。
 [ユーザーズサイト]
 <u>https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html</u>
 ※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザーズサイトパスワードが必要です。
 ※ユーザーズサイトで[プログラム/マニュアル]-[最新版のプログラム/マニュアルダウンロード]-[オプション(各種ツール)]-ミラーツールへと進みます。
- 2. Cドライブ直下に新規で「ESETMirror」フォルダーを作成します。

👟 🗹 📜 =	管理 ローカル ディスク (C:)		-	- 🗆	×
ファイル ホーム 共有	表示 ドライブ ツール				~ ?
$\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \clubsuit \rightarrow F$	PC > ローカル ディスク (C:) >	~ Ū	ローカル ディスク (C	:)の検索	م
	名前 ^ ^ ^	更新日時	種類	サイズ	
★ クイック アクセス ■ デスクトップ	ESETMirror		ファイル フォルダー		
	I inetpub PerfLogs Program Files Program Files (x86) Windows ユーザー		ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	_	

3. ダウンロードした zip ファイルを右クリックして「すべて展開」をクリックします。



4. ファイルの展開先を「C:¥ESETMirror]に変更し、「展開」をクリックします。

Ļ	『 圧縮 (ZIP 形式) フォルダーの展開	×
	展開先の選択とファイルの展開	
	ファイルを下のフォルダーに展開する(F):	
	C:¥ESETMirror 参照(R)	
	☑ 完了時に展開されたファイルを表示する(H)	
	展開(E) キャンセル	

5. 手順4で展開した「Win32」(または「i686」)フォルダー内に「MirrorTool.exe」、「updater.dll」、「eula_en-us.rtf」があることを確認します。



- 以下の Web ページをご参照のうえ、オフラインライセンスファイルに「offline」と名前をつけ、展開した「Win32」(または「i686」)フォルダーにダウンロードします
 ◇オフラインライセンスファイルのダウンロード方法
 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4327?site_domain=business
- [スタート] メニューを右クリックして [ファイル名を指定して実行] を選択して、「notepad」と入力し、メモ帳を起動します。
 以下の通り、コマンドを入力します。

cd /d %~dp0

MirrorTool.exe --mirrorType regular --intermediateUpdateDirectory .¥mirrorTemp -offlineLicenseFilename .¥offline.lf --outputDirectory .¥mirror --excludedProducts (excludedProducts 値)

※上記コマンドを記載したバッチファイルを実行すると、対応バージョンに分かれて検出エンジンのフォルダー が複数作成されます。クライアント端末のプログラム/バージョンごとに、参照先フォルダーが分かれておりま すので、下記 URL を参照し不要なフォルダーはコマンド内の「--excludedProducts」に記載して取得 対象から除外してください。

◇プログラム・バージョン別検出エンジンの参照先フォルダー、および、excludedProducts 値一覧表 https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/eset_mirrortool_ep.pdf

◇Windows Server 環境でミラーツールを使用してミラーサーバーを構築するには? <u>https://eset-support.canon-</u> its.jp/faq/show/4341?category_id=73&site_domain=business

例) EES/EEA V12.X と ESSW V11.X がアップデートを行う場合 ※ミラーサーバーの検出エンジン(ウイルス定義データベース)のフォルダーのうち、「ep8」「ep10」「era6」フォルダーが不要です。

--excludedProducts ep8 ep9 ep10 era6

※ミラーサーバーにプロキシサーバーを利用している場合は、上記コマンド3行目の末尾 に以下の4つのオプションを追加します。ただし、「--proxyUsername」と「-proxyPassword」は、認証が不要な場合は追加する必要はありません。

--proxyHost (プロキシサーバーの IP アドレス) --proxyPort (プロキシサーバーのポート番号) --proxyUsername (認証用ユーザー名) --proxyPassword (認証用パスワード)

STEP2-2. ミラーツールの定期実行をタスクスケジューラに設定

STEP2-1 で作成したバッチファイル「mirror.bat」を定期的に実行して検出エンジンを最新に保つため、 タスクスケジューラにバッチファイルの定期実行を登録します。

 「スタート」メニューから「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→ 「管理ツール」とクリックして「タスクスケジューラ」をクリックして起動します。



2. 「タスクスケジューラ ライブラリ」を選択して右クリックし、「基本タスクの作成」 をクリックします。



3. 「基本タスクの作成」画面が表示されるので、タスク名「MirrorTool」を入力して、 「次へ」ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード			×
🥘 基本タスクの作成			
基本タスクの作成	このウィザ・ ョンや設定	-ドでは、よく使うタスクをすばやくスケジュールします。複数のタスク操作やト! は、「操作」ペインの「タスクの作成」コマンドを使ってください。	リガーなどの言筆細オブシ
トリカー	名前(A):	MirrorTool	
完了	[说明(D):		
		< 戻る(B) 次へ(I	N)> キャンセル

4. 「タスクトリガー」画面が表示されるので、「毎日」にチェックを入れて「次へ」ボタ ンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード	×
タスク トリガー	
基本タスクの作成	いつタスクを開始しますか?
トリガー	 ④ 毎日(D)
操作	○ 毎週(W)
完了	○ 毎月(M)
	○1回限り(0)
	○ コンピューターの起動時(H)
	○ ログオン時(L)
	○ 特定イベントのログへの記録時(E)
	< 厚る(B) 次へ(N) > キャンセル

5. 「毎日」画面が表示されるので、任意のタスクの開始年月日と時間を設定して「次へ」ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
1 毎日		
基本タスクの作成	開始(S): 2021/12/03 □- 9:00:00 € □ タイムゾーン間で同期(Z)	
毎日	閻隔(C): 1 日	
操作 完了		
		de la last
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

6. 「操作」画面が表示されるので、「プログラムの開始」にチェックを入れて「次へ」ボタンをクリックします。

操作 基本タスクの作成 りガー 毎日 ③ プログラムの開始(T) 完了 ④ プログラムの開始(T) ○ 電子メールの送信(非推奨)(S) ○ メッセージの表示 (非推奨)(M)	基本タスクの作成ウィザード		×
基本ダスクの作成 ドリガー 毎日 通作 第了 ● プログラムの開始(T) ① 電子メールの送信(非推奨)(S) ○ メッセージの表示(非推奨)(M)	🥘 操作		
 ※作 ● プログラムの開始(T) ○ 電子メールの送信(非推奨)(S) ○ メッセージの表示(非推奨)(M) 	基本9スクの作成 トリガー 毎日	タスクでどの操作を実行しますか?	
完了 (単子メールの送信(非推奨)(S)) メッセージの表示(非推奨)(M)	操作	 ・ ブログラムの開始(T) ・ 	
○ メッセージの表示 (非推奨)(M)	完了	○ 電子メールの送信(非推奨)(5)	
		○ メッセージの表示 (非推奨)(M)	
			4
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル			: 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. 「プログラムの開始」画面が表示されるので、「参照」ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
迿 プログラムの開始		
基本タスクの作成 トリガー 毎日 操作 <u>プログラムの開始</u> 完了	プログラム/スクリプト(P): [引扱の)追加 (オプション)(A): 開始 (オプション)(T):	参照(R)
	< 戻る(B) 次	(N) > キャンセル

8. STEP2-1 で作成したバッチファイル「mirror.bat」を選択して「開く」をクリックします。

開く				×
← → • ↑ <mark> </mark> « E	SETMirror > Win32	ע פֿ Win∃	32の検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダ	-		: : ▼	
	名前 ^		更新日時	種類
	🖆 eula_en-us.rtf		2022/01/26 15:41	リッチ テキ
TX2F97 #	💿 mirror.bat		2024/01/10 11:37	Windows
ダウンロード メ	MirrorTool.exe		2022/04/12 15:59	アプリケーシ
🚆 F#1X7F 🛛 🛪	offline.lf		2024/01/10 12:15	LF ファイル
📰 ピクチャ 🛛 🖈	updater.dll		2022/04/11 23:16	アプリケージ
PC				
💣 ネットワーク	<			>
דער	(ル名(N): mirror.bat	~ 	てのファイル (*.*)	~
			開<(O) キ	ャンセル

9. 「次へ」ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード				×
🤨 プログラムの開始				
基本タスクの作成 トリガー 毎日 操作 プログラムの開始 完了	プログラム/スクリプト(P): C-¥ESETMirror¥Win32¥mirrorbat 引数の)追加 (オプション)(A): 開始 (オプション)(T):			·照(R)
		< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセル

10. 「完了」 ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
1 要約		
基本タスクの作成		
トリガー	名前:	MirrorTool
毎日	說明	
操作		
プログラムの開始		
完了		
	トリガー:	毎日:毎日 9:00 に起動
	操作	プログラムの開始: C:¥ESETMirror¥Win32¥mirror.bat
] たわいっわ」たとき(ここのなつわれ「ゴロパティ】 ダイマログを用く
	[完了]す	シリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。
		< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

11. 手順 3 で作成したタスク「MirrorTool」を右クリックして「プロパティ」を選択しま す。

④ タスク スケジューラ					- 0	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) へ	ルプ(H)					
🔶 🤿 🙍 📰 📓 📷						
 ・ ・	名前 ⑤ GoogleUpda ⑦ GoogleUpda ⑦ MirrorTool ペ 全般 PJガー 名前 場所 作成者 説明	状態 - 準備完了 準備完了 準備完了 準備完了 単備完了 単価 MirrorTool ¥ WIN-CKC0E	トリガー 複数のトリガーの定義 毎日 13:27 にお動 トリ 年日 4:00 におか 発了(E) 無効(I) エクスポート(X)。 プロパティ(P) 引除(D) JSTF IM¥Administrator	#	 操作 タスクスケジューラライブラリ シスクスクシューラライブラリ シスクの作成 タスクの作成 タスクのインボート ま行中のすべてのタスクの表示 すべてのタスク履歴を有効に 新しいフォルダー 表示 最新の情報に更新 ヘルブ 選択した項目 案行 	• •
				÷	 終了 無効化 エクスポート 	1
	<		>			~

12.タスク「MirrorTool のプロパティ(ローカル コンピューター)」画面が表示されるの で、「全般」タブを選択して「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行 する」にチェックします。

🕒 MirrorTool ത	プロパティ (ローカル コンピューター)	×
全般トリガー	操作 条件 設定 履歴(無効)	
名前(M):	MirrorTool	
場所:	¥	
作成者:		
i兑8月(D):		
ーセキュリティ オプ	「ション	
タスクの実行時	シーン 能使うユーザー アカウント:	
	trator ユーザーまたはグループの変更(U)	
○ ユーザーが	ログオンしているときのみ実行する(R)	
◎ ユーザーが(ログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)	
□ パスワード	*を保存しない(P) (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)	
 □ 最上位の特	寺権で実行する(1)	
		_
□ 表示しない(E	E) 構成(C): Windows Vista™, Windows Server™ 2008 ~	1
	OK キャンセル	ŀ

13. 「トリガー」タブを選択して「編集」ボタンをクリックします。

MirrorTool	のプロパティ (ローカル コンピューター)	×
全般 トリガー	─ 操作 条件 設定 履歴(無効)	
タスクの作成時	時に、タスクのトリガー条件を指定できます。	
トリガー	≝ž 3 Ⅲ	*
毎日	毎日 9:00 に起動	4
<		>
新規(N)	編集(E) 削除(D)	
	OK	キャンセル

14.「繰り返し間隔」にチェックを入れ、「繰り返し間隔」と「継続時間」の設定をそれぞ れ変更して「OK」ボタンをクリックします。

(例:繰り返し間隔「1時間」/接続時間「無期限」)

トリガーの編集	×
タスクの間始(G): スケジュールに従う ~	
設定 1 回(N) 開始(S): 2021/12/03 - 9.00.00 ・ タイムゾーン間で同期(Z) ● 毎日(D) ● 毎週(W) 間隔(C): 1 日 ● 毎月(M)	
詳細股定	
□ 遅延時間を指定する (ランダム)(K): 1時間 >	
☑ 繰0返し間隔(P): 1時間 ~ 継続時間(F): 無期限 ~	
↓ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(!)	
□ 停止するまでの時間(L) 3 日間	
□ 有効期限(X): 2022/1:/03 > 9:09:47 ♀ タイムゾーン間で同期(E)	
☑ 有効(B)	
→ OK *v2	セル

15. 「OK」ボタンをクリックします。

16.「このタスクを実行するユーザー アカウント情報を入力してください。」画面が表示された場合は、現 在ログインしているユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしま す。 ※ 本手順は、管理者権限を持ったユーザーアカウントで実施してください。

タスク スケジューラ		?	Х
	Ū	P	
このタスクを実行するユーザー アス 。	カウント情報を入	.カしてく	ださい
ユーザー名(U):			
パスワード(P):			
	ОК	キャン	セル

17.「×」ボタンをクリックしてタスクスケジューラ画面を閉じます。

※設定した時間になったらミラーサーバー用の検出エンジン(ウイルス定義データベース)が作成されます。 なお、初回の検出エンジン(ウイルス定義データベース)の作成にはお時間が掛かります。

STEP2-3. 検出エンジン配布用の IIS の構築

IIS で検出エンジンを公開する手順につきましては下記 URL より、「2. IIS 環境の構築 <Web サーバ

ーでの作業>」をご確認ください。

◇IIS を利用して検出エンジンを公開する手順

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499? site_domain=business

- ※バッチファイル「mirror.bat」の実行後に作成された「eset_upd」を IIS で公開し、 フォルダー内にある、検出エンジン(ウイルス定義データベース)のフォルダー (例:ep11)からアップデートを行います。
- ※上記 URL 内の[2. IIS 環境の構築 <Web サーバーでの作業>]-[Step.2 IIS の設定]-[手順 4]で Web サイトを作成する際、「Web サイトを直ちに開始する」のチェックをオフの状態で作成して ください。既存ミラーサーバーのポートと重複し、エラーが発生してしまう場合があります。

	Web サイトの追加 ? ×	
ョン サービス (IIS) マネージャ ℝ ▶	サイト名(S): アブリケーション ブール(L): ESET Mirror 選択(E) コンテンツ デイレクトリ	
レプ(H) ministrate ル リレ HTTP 応答 モジュ モジュ 管理 管理 Shar Coofinu	b) 740 740 740 物理パス(P): C+VESTMInor4Win32¥mirror¥eset_upd ボイレー認証 康穂(C) デスト設定(G) パインド 堆穂(T): IP アドレス(I): ボート(O): http ホスト名(H): 「例: www.contoso.com または marketing.contoso.com	
	OK キャンセル	

STEP2-4.既存ミラーサーバーの無効化

STEP2-3 にて IIS で構築したミラーサーバーから検出エンジンをアップデートできるようにするため、既存ミラーサーバーを無効化します。

- 1. 既存ミラーサーバーのデスクトップのタスクトレーより ESET のアイコンをクリックしメイン画面を開きます。
- 2. F5 キーを押下し、詳細画面を開きます。

3. [アップデート]-[プロファイル]-[アップデートミラー]より、[アップデートミラーの作成]を無効にします。 ※同様の設定はポリシーからも設定が可能です。

(ESIET) FILE SECURITY			□×
詳細設定		Q,	× ?
検出エンジン	➡ 基本		
アップデート 🚯	プロファイル		
ネットワーク保護	プロファイルのリスト	編集	0
WEBEX-JV	編集するプロファイルを選択	マイプロファイル	~
デバイスコントロール	マイプロファイル		
ツール	Pyプデート		
ユーザーインターフェース	■ アップデートミラー		
	アップデートミラーの作成	× .	
	アップデートファイルへのアクセス		
	ストレージフォルダー C:\ProgramData\ESET\ESET Security\mirror	削除	0
	HTTPサーバーを有効にする	× .	
	ユーザー名		0
既定値		€ок	キャンセル

STEP2-5.新ミラーサーバーの起動

1. [スタートメニュー]から[Windows 管理ツール]をクリックして、[インターネット インフォメーションサービス(IIS)マネージャー]を起動します



2. STEP2-3 で作成したサイトを右クリックし、[Web サイトの管理]-[開始]をクリックし、サイトを開始します。



STEP2-6. バージョンアップ前クライアントのアップデート先変更

バージョンアップ前のクライアント用プログラムが STEP2-3 で構築したミラーサーバーから検出エンジンのア ップデートができるように、ポリシーを使用してアップデート先を変更します。**また、バージョンアップ後のプロ グラム用のアップデート先変更ポリシーも事前に作成しておきます。** ※本手順ではバージョンアップ前プログラム用のポリシーを例に説明します。

EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 ※EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス>/era/

ログイン	
A ローザー名	
A バスワード	
④ E 本語	▽
□ ドメインユーザーとしてログイン	

2. [ポリシー]より、[新しいポリシー]ボタンをクリックします。

es	eT PROTECT	(血) 🔎 入力すると検索を開始	ì		0	クイックリン	クマ	⑦ ヘルプ ▽			アウト
		ポリシー	:	アクセス	グループ	選択 前	〕 すべて (5	i4)		④ フィルタの溶制	
됴		ポリシー	Q	タヴ_		~				0,2,110,00,20	
A		へ すべて			名前	ポリシ	<i>90</i>	説明	変更時刻	最終更.	©
		∥ カスタムポリシー							0000/5408448		
		へ ⑧ ビルトインポリシー			アノリケ	ESET Mana		5561官理	2023年10月11日13	(59:31 Admini	st
		Auto-updates			报続-6	ESET Mana		エージェ	2023年10月11日 13	:59:31 Admini:	st
	ポロシー	 ESET Endpoint for Linux (V7+) 			报続 – 2	ESET Mana		最大10,0	2023年10月11日 13	:59:31 Admini	st
چ •		 ESET Endpoint for macOS (V6) and 			报続-6	ESET Mana		50,000	2023年10月11日 13	:59:31 Admini:	st
		ESET Endpoint for macOS (V7+)	-		全般 - 最	ESET Virtua		エージェ	2023年10月11日 13	:59:31 Admini	st
		タグ	Q		全般 - 推	ESET Virtua		ESET Virt	2023年10月11日 13	:59:31 Admini	st
					ウイルス	ESET Endp		ESET Sec	2023年10月11日 13	:59:31 Admini	it
		\mathcal{O}			ウイルス	ESET Endp		アドバン	2023年10月11日 13	:59:31 Admini:	st
		\checkmark			ウイルス	ESET Endp		ほとんど	2023年10月11日 13	:59:31 Admini:	st
		ここでは、適用されたタグのリストを確 認し、すばやくフィルタリングできま			ウイルス	ESET Endo	/	接続後に	2023年10月11日 13	:59:31 前に戻	3
		ड .		アク	ション マ	新しいオ	パリシー	割り当て	\bigtriangledown	0 1	1 🕗 😂

3. [基本]を展開し、任意の名前「例:検出エンジン更新先変更(バージョンアップ前)」を入力します。
 ※バージョンアップ後プログラム用のポリシーの場合は「例:検出エンジン更新先変更(バージョンアップ
 後)」と入力してください。

※[説明]の入力は任意です。

新しいポリシー	
ポリシー > 検出エンジン更新先変更(/	(ージョンアップ前)
基本	名前
▲ 設定	検出エンジン更新先変更(パージョンアップ前)
割り当て	
サマリー	
	タグ
	タグを選択

4. [設定]を展開し、製品を選択します。

※本手順では「ESET Endpoint for Windows」を選択します。



5. [アップデート]-[プロファイル]-[アップデート]と展開し、以下の通り設定します。

モジュールアップラ	ř-ト
自動選択	無効
カスタムサーバー	http://<新バージョン対応ミラーサーバーの IP アドレス>:<ポート>/フォルダー名
	※【STEP2】で新バージョン対応のために構築した <ミラーサーバーIP アドレス> 、<ポ
	ート>、<フォルダー名>を入力してください。

※ポリシー「検出エンジン更新先変更(バージョンアップ前)」の場合(クライアント用プログラムの バージョンが V8/V9/V10/V11)は、フォルダー「ep8」、「ep9」、「ep10」、「ep11」をバージョン ごとに指定します。

- 例) クライアント用プログラムが V8 の場合: <u>http://192.168.1.2:2221/ep8</u> クライアント用プログラムが V9 の場合: <u>http://192.168.1.2:2221/ep9</u> クライアント用プログラムが V10 の場合: <u>http://192.168.1.2:2221/ep10</u> クライアント用プログラムが V11 の場合: <u>http://192.168.1.2:2221/ep11</u> ※ポリシー「検出エンジン更新先変更(バージョンアップ後)」の場合(クライアント用プログラムの バージョンが V12)は、フォルダー「ep12」を指定します。
 - 例) <u>http://192.168.1.2:2221/ep12</u>

本	ESET Endpoint for Windows	~	Q、入力すると検索を開始	
ê			_	
)当て	検出エンジン	➡ 基本	0	0 • 4
-Uz	アップデート		(1)	0 • 4
	ネットワーク保護	○ ● ∮ プ <mark>コファイルのリスト</mark>	編集	
	WEBとメール	編 <mark>集</mark> するプロファイルを選択	マイプロファイル	~
	デバイスコントロール	マイプロファイル		_
	ツール	アップデート	25	0 • +
	コーザーインターフェース	○ ● ケ アップデートの種類	通常アップデート	~
		 ● チアップデート配信の最適化を有効にする ◎ ≥ 7.2 	×	
	上昔さモート	○ ● チア:ブデートをダウンロードする前に確認する	×	
		○ ● チ リップテートノアイルが次のサイス(KB)よりも大きい場合に確認 する	0	
		モンユールアップデート		
			×	

[割り当て]を展開し、[割り当て…]ボタンをクリックします。
 ※ポリシー「検出エンジン更新先変更(バージョンアップ後)」を作成している場合は割り当てを行う必要はありません。後ほど STEP4-1 で作成する動的グループに割り当てを行います。

新しいポリシー ^{ポリシー} > 検出エンジン更新先	変更(パージョンアップ前)	
基本設定	割り当て 割り当て解除	
割り当て	ターゲット名	ターゲット説明
サマリー		使用できるデータがありません

バージョンアップ前のクライアントが所属するグループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
 ※ここでは「LOST+FOUND」グループを選択します。

保存	先の設定											>
グル	-プ		0 v 0	🕑 サブグループの	の表示 タグ	\bigtriangledown	フィルタの追加	プリセット ▽	~			
	し オペテ (2)		∧2⊐\2⊬ <u>⊐</u> - ⁄2 -	-9.		ムバ	75	8- IS	前回の接続	ק -	検出	tz: (
	✓ ☞ Windows コンピューター						~	更	2021年12月9日 19:40:	0	0	ES
	 ✓ Inuxコンピューター ✓ Imuxコンピューター 						~	更	2021年12月9日 21:12:	0	0	ES
	こ 古いモジュールのコンピュータ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、											
	□ 問題のあるコンピューター											
	 アクティベーションされていない モバイルデバイス 	•										
1/23											M (0)	1 🕥 😂
	ターゲット名			ターゲ	ット説明			<i>b</i> -	ーゲットタイプ			٤
	LOST+FOUND							静	約グループ			
削除	ま すべて削除										ок =	キャンセル

8. [サマリー]の内容を確認し、[終了]ボタンをクリックします。

新しいポリシー ポリシー > 検出エンジン更新先変更(/(-	-ジョンアップ前)
基本 設定 割り当て サマリー	基本 名前 検出エンジン更新先変更(バージョンアップ前) 説明
	割り当てられたクライアント 割り当てられた静的グループ LOST+FOUND 割り当てられた動的グループ
	反る 続行 たっとせん

しばらくすると、ポリシーが適用されます。

以上で、新バージョンに対応したミラーサーバーからのアップデート準備は完了です。

く参考>

サーバー用プログラムの ESSW または EFSW(管理ツールにインストールされているプログラムを除く)も管理している場合は、以下ご注意のうえ、ポリシーを作成してください。

- STEP2-6のポリシー作成時の手順2では、バージョンアップするサーバー用 プログラムのためのポリシーであることが分かるような名前を入力してください。
- STEP2-6 のポリシー作成時の手順 3 では、製品で「ESET Server/File Security for Windows Server(V6+)」を選択します。

6.【STEP3】サーバーのバージョンアップ

サーバーにインストールされているセキュリティ管理ツールと ESSW をバージョンアップします。

STEP3-1.動作要件の確認

バージョンアップの前に、EP on-premV11.X とESSW V11.X の動作要件を確認します。

<ESET PROTECT on-prem 動作要件>

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep/#spec

<ESET Server Security for Microsoft Windows Server 動作要件>

・ESET PROTECT Entry をご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html

・ESET PROTECT Essential をご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

く参考>

EP V8.X 以降では、64bit 版の Java が必要です。

Oracle 社提供の Java Runtime Environment 8 は公式アップデートを終了しております。 公式アップデートが終了された後もセキュリティ管理ツールをご利用いただくことはできますが、新たな セキュリティパッチなどを含むアップデートは提供されないため、有償の JRE もしくは、無償のオープン ソース JDK のご利用(移行)を推奨しています。

なお、EP V9.1 以降では Java17 のみ対象となりますのでご注意ください。

ご利用のソフトウェアが動作環境のバージョンを満たしているかご確認ください。バージョンアップが必要な場合は、Java17を新規でインストールし、バージョンアップ完了後に不要になった古いバージョンの Javaのアンインストールをお願いいたします。

く参考>

EP V8.X 以降では、Apache Tomcat 9(64bit)が必要です。 32bit 版を利用している場合は、32bit 版をアンインストール後、64bit 版をインストールしてからオン プレミス型セキュリティ管理ツールのバージョンアップを実施してください。 Apache Tomcat のバージョンアップ方法については、以下 URL をご参照ください。 <Apache Tomcat のバージョンアップ方法> https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/24431?site_domain=business

く参考>

Microsoft SQL Server 2012 以前のデータベースをご利用の場合は、先に Microsoft SQL Server 2014 以降へアップグレードしたうえで、サーバーのバージョンアップを実施してください。

く参考>

EP V10.X 以降では Apache HTTP Proxy もしくは ESET Bridge の利用が可能です。 既に Apache HTTP Proxy が導入されている環境で、オールインワンインストーラーを使用してバ

ージョンアップを行う際は、これまでと同様 Apache HTTP Proxy が自動的に利用されます。 ESET Bridge を利用する場合は、事前に ESET Bridge をインストールしてください。 (オールインワンインストーラーを使用して ESET Bridge をインストールする際は、Apache HTTP Proxy は自動的にアンインストールされます。) <ESET Bridge 概要> https://help.eset.com/ebe/1/ja-JP/

<参考>

Mobile Device Connector はサポートを終了しました。

オンプレミス型セキュリティ管理ツールに含まれる Mobile Device Connector をご利用中のお客様は、クラウド製品への切替をご検討ください。

「Mobile Device Connector」のサポート終了の詳細については以下 URL をご参照ください。 <【重要】ESET PROTECT に含まれる Mobile Device Connector のサポート終了について> https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/23588?site_domain=business

STEP3-2. ESET Server Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ ※ESSW V8.X/V9.X/V10.X をご利用の場合は以下の手順を実施します。 すでに ESSW V11.X(最新バージョン)をご利用いただいている場合は STEP 3 - 3 へ進みます。

EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 ※EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

コグイン	
8 h-t-8	
8 /LZD-K	
③ E本語	
ドメインユーザーとしてログイン	

2. [タスク]より、[新規作成]をクリックし、[クライアントタスク]を選択します。

es	T PROTECT	····· (介) P 入力すると検索を開始。 のイッ	ウリンク マ
		タスク : ・ アクセスグループ 3	er
G		タスクタイプ ρ タワ_ マ	
		へ 泡 クライアントタスク ▲ 名前	タグ ス
		✓ ⑤ ESETセキュリティ製品	
	タスク		
		 と D 5/イル 	
		◇ □ フルディス・7暗号化	
		へ ▶ サーバータスク	
		9 7 P	結果が見
		>	フィルターの検索
		ここでは、週間 k1たらグのリストを確 認し、すばやくフィルタリングできま す。	フィル
		▶ 新規作成_ マ ・ アクジョン マ	

オンプレミス型セキュリティ管理ツール

V10 から V11 へのバージョンアップ手順書

3. [基本]を展開し、以下の通り設定します。

名前	任意の名前(例:ESSW バージョンアップタスク)
説明	任意で入力
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ソフトウェアインストール

クライアントタスク タスク > ESSWバージョンアッ	לאל	
基本 ▲ 設定	名前 ESSWバージョンアップタスク	
サマリー	タグ タグを選択 減期	
	タスク分類	
	すべてのタスク タスク ソフトウェアインストール	~

4. [設定]を展開し、以下の通り設定をし、リポジトリからパッケージ選択の「<選択>」をクリックしま す。

インストールするパッケージ	リポジトリからパッケージをインストール
オペレーティングシステムを選択	Windows

クライアントタスク タスク > ESSW(ージョンアップタスク		
基本	ソフトウェアインストール設定	
小 65 人	インストールするパッケージ ⑦ リポジトリからパッケージをインスト ール 直接パッケージURLでインストール オペレーティングシステムを選択 Windows Linux macOS Anfroid リポジトリからパッケージを選択 選択 FSETライヤンス ⑦	

5. 「ESET Server Security for Microsoft Windows Server」を選択し、任意のプログラムを 指定して、[OK]ボタンをクリックします。

※既定で最新バージョンのプログラムが設定されます。



「ESET ライセンス<選択>」をクリックします。
 ※必要に応じて、「最新バージョンのインストール」の設定を有効にしてください。

クライアントタスク タスク > ESSWバージョンアップタスク	
	インストールするパッケージ ⑦
基本	○ リポジトリからパッケージをインストール
設定	○ 直接パッケージURLでインストール
ਸ ੁੱਟੁਪ–	オペレーティングシステムを選択 ● Windows □ Linux ● macOS Android リポジトリからパッケージを選択 ESET Server Security for Microsoft Windows Server; パージョン 日本語言語、WINDOWS
	最新パージョンのインストール エンドユーザーライセンス契約が同意される最新の製品パージョンをインストールできます ESETライセンス③ 選択
[^]を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。
 ※ライセンスを指定してタスクを作成した際にエラーが発生した場合は、本手順でライセンスを指定せずにタスクを作成し実行してください。

ライセンスを選択してください							×
タグ			ライセンスタイプフラグ	未選択 ▽	\$1. ♥	フィルタの追加	JUEYNY O
	所有者名	連絡先	製品名	ユニッ サブニ	ライセンスタイプ	ステー	有効期間
ここでは、適用されたタグのリストを確							
認し、すばやくフィルタリングできま す。							
	1/1						Ļ,
						[ок キャンセル

8. 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れます



9. 「サマリー」の内容を確認し、問題なければ[終了]ボタンをクリックします。

クライアントタスク	
II.t	基本
設定	名前
-עדע	ESSW/(ージョンアップタスク
	12R#H
	タヴ
	カフカル通常
	シスプログロロス シング シストール
	ソフトウェアインストール設定
	インストールするバッケージ
	Esci Server security for Microsoft Windows server, ハージョン10.0.12014.1、ja JP百路、Windows 戻る 続行

10. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



11. [基本]を展開し、任意のトリガーの説明(例: ESSW バージョンアップトリガー)を入力します。



12. [対象]を展開し、「ターゲットの追加」をクリックします。

新しいトリガーの追加 タスク 〉ESSWバージョンアップトリガー	
基本 ▲ 対象	ターゲットの追加 ターゲットの削除 🔺
トリガー	
詳細設定 - 調整	使用できるデータがありません

13. ESSW がインストールされている管理兼ミラーサーバーを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

保存先の設定					×
グル−プ ♀ ※ ≪	▲ 🛛 ✓ ○ 🗹 サブグループの表示	タグ	マ フィルタの	追加 プリセット マ	
▲ 「 すべて (2)	△2コンピューター名	タグ ステ		モミ 前回の接続	7 5 ô
LOST+FOUND (2) ✓ [™] Windows コンピューター		~	,	更 2021 12月 9 16:16:	50 0 0
│ ∨ 🔁 Linuxコンピューター		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	更 2021 12月 9 16:17:	19 0 0
 ✓ 〒 Mac コンビューター □ 古いモジュールのコンピュー 					
□ □ 古いオペレーティングシステ	1アイテムを選択しています。				•
問題のあるコンピューター アクティベーションされてい アクティベーションされてい マカー マー マー マー マー マー マー					⊲ ⊙ 1 ⊙ 😂
クーゲット名	ターゲット説明		ター	-ゲットタイプ	٢
			22	ンピューター	
削除すべて削除					ОК キャンセル

14. [トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。[終了]ボタンをクリックします。 ※本手順書では「即時」を選択します。

新しいトリガーの追加 タスク > ESSWパージョンアップトリガ	_
基本 対象 トリガー 詳細設定 - 調整	 ⅰ トリガータイプ 即時実行 有効期限 ② 2022 1月 9 16:18:10 i ターゲットのローカル時刻を使用

15. 「コンピューター」より、タスクを実行した管理兼ミラーサーバーのプログラムのバージョンがバージョンアップしていることをご確認ください。

※「再起動」を促すアラートが赤く表示されますが、次のSTEP3-3を実行後に再起動いたします。

コンピューター	:		•••	サブグループの表示	门 すべて (2)	タグ		プリセッ	⊳ √	C
グループ	Q	フィル	レタの追加							
へ 🗋 すべて (2)	^		△ コンピュ・	一夕一名	タグ	ステー ミュー	モジュールステーク	前回の接続	アラ	0
LOST+FOUND (2)						~	更新	2021 12月 9 16:18:50	0	0
✓ Im Windows コンピューター	- 1					A	更新	2021 12月 9 16:19:21	1	0
✓ Inuxコンピューター	- 11									
✓ 🖸 Mac コンピューター	- 1									
🛅 古いモジュールのコンピューター										
▶ 古いオペレーティングシステムの□	J									

STEP3-3. ESET PROTECT on-prem のバージョンアップ

1. ユーザーズサイトより、「ESET PROTECT on-prem [Ver 11.X.XX.X]」のオールインワンインス トーラーをダウンロードします。

[ユーザーズサイト] https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html ※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザーズサイトパスワードが必要です。 ※ユーザーズサイトで[プログラム/マニュアル]-[オンプレミス型セキュリティ管理ツール(ESET PROTECT on-prem)]-[ESET PROTECT on-prem]と進むとオールインワンインストーラーが あります。

2. ユーザーズサイトからダウンロードした「Setup_x64.zip」をサーバー上で展開し、「Setup.exe」を ダブルクリックで実行します。

📙 🛃 📜 🗧 Setup_x64				- 0	X
ファイル ホーム 共有	表示				\sim (
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacksquare \rightarrow Se	etup_x64		✓ ひ Setup_x64の	検索	Q
チャイック マクセフ	名前 ^	更新日時	種類	サイズ	
→ シイック アクセス ■ デスクトップ ★	installers	2021/12/09 16:24	ファイル フォルダー マプルケーションが 準	7 200 // 0	
↓ ダウンロード ★ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	Setup	2021/10/25 10:23	アプリケーション	7,447 KB	
🧢 PC					
🕩 ネットワーク					

3. 言語で「日本語」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

eser PROTECT	ESET PROTECTセットアップ
 ようこそ アクションのタイプ 利用規約 コンポーネント インストール前チェック インストール 終了 	 クイックセットアップガイド インストール成功のための手順と情報 インストールおよびアップグレードガイド すべてのインストールオプションの概要を説明する製品マニュアル。 手順ビデオ ESET PROTECTビデオガイドを含むESET Youtubeチャンネルを表示します。
	言語 日本語 ▼ 事前に用意されたコンテンツやリポジトリに使用される言語を選択します。Webコンソールの 言語選択には影響しません。
	戻る 次へ キャンセル

4. 「すべてのコンポーネントをアップグレード」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

eset PROTECT	アクションタイプを選択	
ようこそ ・ アクションのタイプ 利用規約 コンポーネント インストール前チェック インストール 終了	ESET PROTECTとそのコンポーネントに対して実行するアクションを選択します。 インストール すべてのコンポーネントをアップグレード アンインストール 	6) 6) 7)
	戻る次へ	キャンセル

5. エンドユーザーライセンス契約に同意したら、「ラインセンス契約の条件に同意します」を選択し、「次 へ」をクリックします。

🍯 ESET PROTECTセットアップ	– 🗆 X
eset PROTECT	エンドユーザーライセンス契約
ようこそ アクションのタイプ ▶ 利用規約	▲ 重要:グウンロード、インストール、コピー、または使用の前に、製品利用に関する 下記契約条件を注意してお読みください。本製品をダウンロード、インストー ル、コピー、または使用することにより、お客様はこれらの条件に対する同意を 表明し、次の項目に同意したことになりますプライパシーポリシー.
コンホーネント インストール前チェック インストール 終了	エンドユーザー使用許諾契約 本エンドユーザーライセンス契約(以下「本契約」とします)は、Einsteinova 24,851 01 Bratislava, Slovak Republicに所在し、プラチスラパ第1地方裁判 所の有限会社部門(District Court Bratislava I. Section Sro)において掲 戦番号3586/B,31 333 535として商業登記されている。ESET,spol.sr.o.、 またはESETグループ内の別企業(以下「ESET」または「供給者」とします)と、 自然人または法人であるお客様(以下「FA客様」または「エンドユーザー」としま す)との間で締結され、お客様に本契約の第1条で定義する本ソフトウェアを使 用する権利を付与するものです。本契約の第1条で定義する本ソフトウェアを使 用する権利を付与するものです。本契約の第1条で定義する本ソフトウェアとい。 データ記憶媒体への格納、電子メールでの送付、インターネットからのダウンロー
	 ライセンス契約の条件に同意します ライセンス契約の条件に同意しません
	<u>プライバシーポリシー</u> 戻る次へキャンセル

アップグレードするコンポーネントを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
 ※EP V10.0 以前で利用しているコンポーネントがアップグレードされます。

邎 ESET PROTECTセットアップ	_		×
PROTECT	アップグレードするコンボーネント		
ようこそ アクションのタイプ 利用規約	 ESET PROTECT Server ESET Management Agent Mobile Device Connector - インストールされていません Microsoft SQL Server Express 	0	
▶ コンボーネント インストール前チェック インストール	ESET PROTECT Web Console Apache Tomcat	0	
終了	Rogue Detection Sensor - インストールされていません WinPCAP - インストールされていません	0	
	ESET Bridge Proxy - インストールされていません	0	
	戻る次へ	キャンセル	

7. ご利用の Java を選択します。Amazon Corretto を利用している場合は、「OpenJDK」を選択し、[アップグレード]ボタンをクリックします。

ESET PROTECTセットアップ	- 0	-
	Java	
4327	Webコンソールサーバーを実行するには、Java (64-bit)をインストールする必要がありま す。詳細	
アクションのタイプ 利用規約 コンポーネント	OpenJDK C:¥Program Files¥Amazon Corretto¥	
 インストール前チェック インストール 	Javaインストールを選択してください このコンビューターのJavaインストールパスを選択してください	
**] **		
	戻る アップグレード キャンセル	

8. アップグレードが実行されます。

🛎 ESET PROTECTセットアップ		_	
eset	アップグレードを実行中です		
PROTECT			
	コンポーネント	推定時間	^
ಕೆಂಶಕ	Microsoft SQL Server Express	20 分	
アクションのタイプ	ESET PROTECT Server	5分	
利用規約	ESET Management Agent	2 分	
コンポーネント	Apache Tomcat	5 分	
インストール前チェック	ESET PROTECT Web Console	5分	_
▶ インストール			
叛し			
			~
	戻るの次の	∧ =	Fャンセル
スタート			

9. アップグレードが完了したら、以下の画面が表示されます。[終了]ボタンをクリックします。

🛎 ESET PROTECTセットアップ	_		Х
eser	アップグレードが成功しました		
PROTECT			
ತಿನಿವರಕ	ESET PROTECT Serverインストールが成功しました。		
アクションのタイプ 利用規約			
コンポーネント			
インストール前チェック インストール			
▶終了			
	戻る 次へ	終了	

10. 再起動します。

11. EP on-prem Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

※EP on-prem Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

ログイン				
8 ユーザー名				
日 パスワード				
③ 日本語				
- ドメインユ-	ーザーとしてログイ	ン		
🔽 マルチタブコ	でのセッションを有	効化		
ログイン	パスワードの変更			
the state	Progre	ess. Protected.	A	

12. 以下の画面が表示されたら、「×」で閉じます。



13.「コンピューター」より、管理兼ミラーサーバーの再起動アラートが消えていることを確認します。 ※他の原因でアラートが表示されている場合は、適宜ご対応ください。

es			ф(ይ አከታる	と検索を開始		0	クイック	ウリンク マ	7 ⑦ ヘルプ マ			t	E,	1グアウ 9分	4
		コンピューター	:	A 0	√ 0	サブグループの	表示 🔽	63	たべて (2)	9 <i>7</i>	~	0)フィル	夕の追加	Ÿ	0
됴	コンピューター	グループ	0					C	★ 11441;	フィルター						
A			^ 		∽ שארב –	ター名	IP	タグ	ス	前回の接続		P	検出	05名	۵	٢
		LOST+FOUND (2)	Ť							2024年1月10日 15:43:21	•	0	0			
		🛅 tt (0)	- 1						× .	2024年1月10日 15:42:59	•	0	0	Micr	tagu	
		✓ □ Windows □>ビューター	- 1													
		✓ □ Linuxコンピューター ✓ □ Mac コンピューター														
			Ŧ													
		タグ	Q,													

14. 右上の「ヘルプ」-「バージョン情報」をクリックします。

eset	PROTECT ON-PREM		ф(▶ 入力すると検索を	明始	0		⊘ ראר ביורי	٨			
3	/ッシュボード	コンピューター	:) サブグループの	表示 🔽	בשעב שיש ביש		~		フィルタの追	n P C
	ンピューター	グループ	Q				ESET PRI ナレッS	OTECT on-p emガイド バース				
	ж	へ 亡 すべて (2)	^		ビューター名	IP	タグ サポート			P	検出 05名	□ ⊚
ă ν	ポート	LOST+FOUND (2)	- 1				サポート 暗号 と	~に連絡	•	0	0	
D 9	マスク	🛅 tt (0)	- 1						•	0	0 Micr.	tagu
<u>⇔</u> -1	シストーラー	✓ □ Windows コンピューター	- 1				ין-אלי בל ערי	、ニュース : ア情報局				
© #	(リシー	 ✓ □ Linuxコンビューター ✓ □ Mac コンピューター 										
ф Ш	迎		-				バージョ	レ情報				
		ari	0									

15. 「ESET PROTECT on-prem (Server)」と「ESET PROTECT on-prem (Web コンソール)」 バージョンが、「11.X」であることを確認します。



STEP3-4. データベースのバックアップ

【STEP1】ESET PROTECT サーバーのバックアップと同様の方法で、再度 ESET PROTECT onprem のデータベースとコンフィグレーションのバックアップを取得してください。 ※バックアップ取得時には、ESET PROTECT on-prem サービスを停止する必要がありますのでご注意 ください。

STEP3-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

ESET PROTECT on-prem と EM エージェントの接続に使用しているピア証明書と認証局をエクスポートして、バックアップを取得します。

1. [詳細]-[ピア証明書]より、エクスポートを行う証明書を選択し、[アクション]より[エクスポート]をクリ ックします。証明書がダウンロードされます。



2. 手順1を繰り返し、各証明書のエクスポートを行い、任意の場所に保存します。

💿 名前を付けて保存						Х
$\leftarrow \rightarrow \land \uparrow$	> PC > ダウンロード >	~	Ö	、○ ダウンロードの枝	食索	
整理▼ 新しいフォ	ルダー				•=== •	?
 > PC 3D オブジェクト ◆ ダウンロード ● デスクトップ ※ ドキュメント ※ ビクチャ ※ ビデオ > ミュージック * Windows (C:) 	▲ 名前	更新日時		種類	サイズ	
ファイル名(N):	証明書エクスポートCN=Server+at+pfx					~
ファイルの種類(T):	Personal Information Exchange (*.pfx)					~
ヘ フォルダーの非表示				保存(S)	キャンセル	

3. [詳細]-[認証局]より、エクスポートを行う認証局を選択し、[アクション]より[公開鍵のエクスポート] をクリックします。

ese	PROTECT ON-PREM		م 🗘)入力すると検索	を開始		0	クイックリン	クマ	0 ^	ヽルブ マ	A ADM	INISTRATOR	E ,	グアウト 份
	検出 送信されたファイル	^	認証局	+	アクセス	スグループ	選択 🃋	\$Ø.		~			⊕ ⁊-	ィルタの追加	7 O
G	除外		タグ	Q		説明			Z	件名	タグ	有効開始日		有効期限	٢
A	68.7d	Ľ				ESET PRO	TECT認証局			CN=		2023年10月9日	0:00:00	2033年10月10	⊟ 0:00:00
					Ψ										
	コンピュータユーザー														
	ライセンス管理		\bigcirc	+	新規 = 成			1							
ĥ			ここでは、適用されたタグの	ノストを確 🥒	タグ. 編生										
>			認し、すばやくフィルタリッ す	づできま 🗎	監査 1グ										
	椿限セット		21	1	前除		_								
				¥	公開鍵の工作	クスボート									
	ビア証明書			¥	Base64とし	て公開鍵をエ ループ	ウスボ								۰.
	80-10-9	-		3	7	V 18.52. V		(Acres)	540 M					K 0 1	0 8
					100	- CEC	-8139	of 1-205						1.01	

4. エクスポートした公開鍵(認証局)を任意の保存先に保存します。

💿 名前を付けて保存					×
$\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \clubsuit PC$	> ダウンロード >	v ت	· ダウンロードの林	検索	
整理▼ 新しいフォルダー					0
	名前	更新日時	種類	サイズ	
🧊 3D オブジェクト					
🖊 ダウンロード					
📃 デスクトップ					
🗎 ドキュメント					
📰 ピクチャ					
📑 ビデオ					
🎝 ミュージック					
Uindows (C:)					
● ネットワーク ~					
ファイル名(N): 認証局	+CN=サーバー認証局+public+key.der				~
ファイルの種類(T): Securit	y Certificate (*.der)				~
、 フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル	
<参考>]				
不具合に伴うせ	 ナーバーの再構築やリース切	れに伴うサーバ	ーのリプレージ	スや増設	とまたしていていていていていていていてい しんしょう しんしょ しんしょ
アント端末の接	続先を変更するため、旧サ	ーバーのサーバ	-証明書や	認証局	を新サーバーにインポー
トオス心亜がち	り±オ				
いる心女小の					
く新しく移行し	たオンブレミス型セキュリティ	管埋ツールへ接	続するには	?>	
https://eset-	-support canon-its in	/fag/show/1	3248?site	doma	ain=husiness
<u>incep51//C5CC</u>	support counter (cs.jp/	104/5/104/1			

以上で、サーバーのバージョンアップは完了です。

7.【STEP4】 クライアントのバージョンアップ事前準備

STEP5 以降で、管理しているクライアント用プログラムとエージェントを V12.X/V11.X にバージョンアップ した後、自動で端末が振り分けられるバージョンアップ完了確認用のグループをそれぞれ作成します。また、 STEP2-3 で作成したミラーサーバーからのアップデートに自動的に変更できるよう、作成した動的グループ に STEP2-6 で作成したポリシーを配布します。

STEP4-1. バージョンアップ完了確認用の動的グループ作成

※本資料では、EM エージェントのバージョンアップ完了確認用の動的グループを例に説明します。以 下の手順を参考に、クライアント用プログラムのバージョンアップ完了確認用のグループも別途作成し てください。

EP on-prem Web コンソール を起動して、ESET PROTECT on-prem に接続します。
 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 ※EP on-prem Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

	ログイト	
/		
1	A ユーザー名	
1	A パスワード	
	③ 日本語	<
1	ドメインユーザーとしてログイン	
	✓ マルチタブでのセッションを有効化	
	ログインパスワードの変更	
		/All

「コンピューター」より、バージョンアップを行うクライアント端末が所属する静的グループを選択し、[歯車]-[新しい動的グループ...]をクリックします。

※本手順では、既定でクライアントが所属する「LOST+FOUND」を選択します。

es	PROTECT ON-PREM		LOST+FOUND	を開始 (の クイックリンク	
••	ダッシュボード コンピューター	コンピューター	 詳細を表示 自 監査ログ + 新しい神的グループ 	サブグループの表示 🗸	LOST+FOUND (2	2) ØØ
		グループ	+ 新玩さな → + 新玩さな → D タスク →	-9—8 IP7.	. タグ ステ 首	前回の接続 ア
		✓ □ LOS FOUND (2) ◎ ✓ □ Windows コンピューター	● VII= ション ▷ ③ レポート ▷	top-a6dbbmj 192.1	🗸 2 🔪 2	2024年1月11日 11:31:19 ●
		✓ □ Linuxコンピューター ✓ □ Mac コンピューター	2 ² ボリシーの管理 2 ² 編集 (3) 終執			
		 古いモジュールのデバイス 古いオペレーティングシステムのデ 	自 削除 ・ ・ ・ ・			
		 問題のあるデバイス アクティベーションされていないセ 	 インボート 			
		90	Q			
		\bigcirc				
	折りたたみ	ここでは、適用されたタグのリストを確 認し、すばやくフィルタリングできま す。	デバイスの追加 マ	□>ビュータ ▽	検査	90 E:

[基本]を展開し、任意の名前(例:EMエージェントバージョンアップ完了グループ)を入力します。
 ※クライアント用プログラムのバージョンアップ完了確認用の動的グループを作成する場合は、「例:クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ」と入力します。
 ※「説明」の入力は任意です。

新しい動的グループ <u> コンビューター</u> 〉 EMエージェントバージ	ョンアップ完了グループ
基本 ▲ テンプレート	► 名前 EMエージェントバージョンアップ完了グループ
サマリー	説明
	ALCIV J LOST+FOUND 親グループの変更

4. [テンプレート]を展開し、[新規作成]ボタンをクリックします。

新しい動的グル	レープ
> EM	Mエージェントバージョンアップ完了グループ
基本 ▲ テンプレート サマリー	▲ 動的グループテンプレート 既存を選択

5. [基本]を展開し、任意の名前(例: EM エージェント自動振り分けテンプレート)を入力します。
 ※クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ作成の場合は、「例:クライアント用プログラムバージョンアップ完了自動振り分けテンプレート」を入力します。
 ※「説明」の入力は任意です。

新規テンプレート	
本基 定	▶ 名前 EMエージェント自動振り分けテンプレート
時間ルール	EKAN
	時間ルールの使用 ③
	タヴ タヴを選択

6. [式]を展開し、処理に「AND(すべての条件が真であること)」を選択します。 「ルールの追加」をクリックします。

新規テンプレート			
基本 式 時間ルール	・ 処理 ルールの	AND (すべての条件が真であること) の追加	Ý

7. 「インストールされたソフトウェア」-「アプリケーションバージョン」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

項目を選択してください	$_{\sim}$ \times
▶ 入力すると検索を開始	
∨ ■ OSエディション	A
∨ ■ OSロケール	
∨ ■ アクティベーション	
^ ■ インストールされたソフトウェア	
■ アプリケーションバージョン	1
■ アプリケーションベンダー	
■ アプリケーション名	
📕 エージェントによるアンインストールサポート	
■ サイズ(MB)	
■ デバイス管理者権限	
∨ ■ コンピューター	
∨ ■ コンピューターの機能/保護ステータス	-
	● OK キャンセル

8. 「前方一致」を選択し、条件に「11.」と入力します。

※バージョンが V12 のクライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ作成の場合は条件に 「12.」と入力します。

「ルールの追加」をクリックします。

新規テンプレート	
基本	処理 AND (すべての条件が真であること) V
時間ルール	インストールされたソフト ウェア.アブリケーション バージョン ルールの追加
	長る 読行 株了 キャンセル

9. 「インストールされたソフトウェア」-「アプリケーション名」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

項目を選択してください		$ Z \times $
▶ 入力すると検索を開始		* *
∨ ■ OSエディション		
∨ ■ 05□ケール		
∨ ■ アクティベーション		
^ ■ インストールされたソフトウェア		
■ アプリケーションバージョン		
■ アプリケーションベンダー		
■ アプリケーション名		
■ エージェントによるアンインストールサポート		
■ サイズ(MB)		
■ デバイス管理者権限		
∨ ■ コンピューター		
∨ ■ コンピューターの機能/保護ステータス		
L	[ок キャンセル

10. 「=(等しい)」を選択し、条件に「ESET Management Agent」を入力します。

「手順 8 で設定した条件」と「本手順 10 で設定した条件」の 2 つが指定されていることを確認し、 [終了]ボタンをクリックします。

※クライアント用プログラムのバージョンアップ完了を確認する動的グループを作成する場合は、
 条件に「ESET Endpoint Security」または「ESET Endpoint Antivirus」を入力します。
 ※ESET Server Security for Microsoft Windows Server(管理ツール以外にインストールされている場合)のバージョンアップ完了を確認する動的グループを作成する場合は、
 「ESET Server Security」を入力します。

新規テンプレート		
基本	処理 AND (すべての条件が真であること) ◆	
時間ルール	インストールされたソフト 前方一致 ¥ 11. ウェア . アプリケーション バージョン	
	インストールされたソフト = (等しい) V ESET Management Agent クェア・アブリケーション 名	
	ルールの追加	
		Þ

11. 「サマリー」の内容を確認し、問題がなければ[終了]ボタンをクリックします。

新しい動的グループ コンビューター 〉 EMエージェントバージョンアップ完了グループ			
基本 テンプレート サマリー	基本 名前 EMエージェントバージョンアップ完了グループ 説明		
	親グループ LOST+FOUND テンプレート 動的グループテンプレート EMエージェント自動振り分けテンプレート 説明		
	展る 読行 純了 キャンセル		

12. バージョンアップするクライアント端末が所属する静的グループ下に、作成した動的グループがあること を確認します。

es	eT PROTECT ON-PREM		① ハルブマ 8 クイックリンクマ ③ ヘルブマ 8
		コンピューター	▲ ● ✔ ○ サブグループの表示 💟 🗅 BMIージェント_ タグ_ マ
돠	コンピューター	グループ	
▲		へ 白 すべて (2)	A
		C LOST+FOUND (2)	
		🗀 EMエージェントバージョ 🔞	
		✓ □ Windows コンピューター	
			• E
		9J .	D
		ここでは、適用されたタグのリストを確 認し、すばやくフィルタリンクでさま	
		す。	「デバイスの追加 ▽ □ンピュータ ▽ 検査 タグ こ

STEP4-2. 動的グループへのポリシー適用

バージョンアップが完了したクライアント用プログラムが、STEP2-3 で構築した新ミラーサーバーの新バージョン用フォルダー(ep12)から自動で検出エンジンのアップデートができるように、STEP4-1 で作成した動的グループにポリシーを割り当てておきます。

1. [ポリシー]-[カスタムポリシー]より、STEP2-6 で作成した「検出エンジン更新先変更(バージョンア ップ後)」を選択し、「+グループの割り当て」をクリックします。



2. 「STEP4-1」で作成した動的グループ「クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ」を選択 し、「OK」ボタンをクリックします。

グループを選択してください	$\checkmark^{}~\times$
▶ 入力すると検索を開始	$\gg \approx$
<u>ि ^ ि इर्र</u> त	
│ ✓ ▲ 金社	
└ LOST+FOUND	
TEMエージェントバージョンアップ完了グループ EMエージェントバージョンアップ完了グループ	
✓ ⑦ クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ	
─ ∨ 🗊 Windows コンピューター	
─ \v T Linuxコンピューター	
── 〜 🛐 Mac コンピューター	
□ 古いモジュールのデバイス	
□ 古いオペレーティングシステムのデバイス	
1/29 アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出	-
	ヤンセル

8.【STEP5】EM エージェントのバージョンアップ

クライアント端末の EM エージェント V10.1 以前を V11.X にバージョンアップします。

STEP5-1. クライアントの EM エージェントをバージョンアップ

 EP on-prem Web コンソール を起動して、ESET PROTECT on-prem に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
 ※EP on-prem Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era

1	ログイン	
	A 1-9-8	
	א-פגא ם	1
	③ 日本語 ▽	
	ドメインユーザーとしてログイン	
	マルチタブでのセッションを有効化	
	ログイン パスワードの変更	
	Browings Biotestad	
	Progress. Protected.	

2. [タスク]-[新規作成]-[クライアントタスク]をクリックします。

es	PROTECT ON-PREM		🗘 🗘 ומא	·ると検索を開始 ⑦) ♂ ▽ ③	マ ペ ご ^{ログアウト} 、 _{9%}
		タスク	:	POtzó	リループ 選択 創	
돠		タスクタイプ	Q	クライアントタ (2)	j	
		へ 回 クライアントタスク		名前	タグ ス	説明 夕 進 ③
		✓ ▶ ESETセキュリティ製品				I
Þ	タスク	V D ESET PROTECT				
Ē						
		◇ ▶ フルディスク暗号化	-			
		bri	0			
		~~~	~			
		) Ø		+ 0=/7/6870		
		ここでは、通用されたタグ 認し、すば ><フィルタリ	のリストを確 リングできま	+ サーバータスク		
Ð		Ŧ.		新規作成 マ アウション	$> \bigtriangledown$	

3. [基本]を展開し、以下のとおり設定します。[続行]ボタンをクリックします。

名前	任意の名前(例:エージェントのバージョンアップ)
説明	任意の説明
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ESET PROTECT コンポーネントのアップグレード

クライアントタスク	
タスク 〉 エージェントのバージョンアップ	
基本	名前
▲ 設定	エージェントのバージョンアップ
サマリー	9 <i>7</i>
	タグを選択
	説明
	タスク分類
	すべてのタスク ✓
	0.070
	ESET PROTECT コンボーネントのアップクレード
	LJ
	戻る         続行         キャンセル

4. 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れます。 「 <サーバーを選択>」をクリックします。

クライアントタスク タスク > エージェントのバージョンアッ	יד
基本 ▲ 設定 サマリー	<ul> <li>マンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーボリシーを承諾します。</li> <li>ESET PROTECT on-premコンポーネントのアップグレード設定</li> <li>▲ ESET PROTECT サーバーを協会 ②         <ul> <li>(サーバーを選択)</li> <li>の要なときに自動的に両起動</li> </ul> </li> </ul>

5. ESET PROTECT on-prem のコンポーネントを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

項	目を選択して	ください						∠ ×
							e	フィルタの追加 🎖 🗘
	製品名	バージョン	osタイプ	OS	説明		変更ログ	エンドユーザーラ 🔞
	ESET PROTECT		windows	WINDOWS	ESET PROTECT	en_US	変更ログの表示	<u>EULAを読む</u>
	ESET PROTECT		windows	WINDOWS	ESET PROTECT	en_US	変更ログの表示	<u>EULAを読む</u>
	ESET PROTECT		windows	WINDOWS	ESET PROTECT	en_US	変更ログの表示	<u>EULAを読む</u>
								ΟΚ キャンセル

6. [終了]ボタンをクリックします。

クライアントタスク タスク > エージェントのバー	ージョンアップ
基本設定	✓ エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーボリシーを承诺します。 ESET PROTECT on-premコンポーネントのアップグレード設定
サマリー	ESET PROTECT サーバーを服会 ③ ESET PROTECT Server,windows (WINDOWS) 必要なときに自動的に再起動
	展る

7. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



8. [基本]を展開し、任意のトリガー説明(例:エージェントのバージョンアップトリガー)を入力します。 [続行]ボタンをクリックします。

新しいトリガーの追加 タスク > エージェントのパージョンアッ	パテリガー
<b>基本</b>	トリガー説明 ▶ エージェントのパージョンアップトリガー
トリガー 詳細設定 - 調整	
	戻る 「続行」 「終了」 キャンセル

9. [対象]を展開し、「ターゲットの追加」をクリックします。

新しいトリガーの追加 タスク > エージェントのパージョ	アップトリカー	
基本 <b>基本</b>	ターヴットの進加 ターヴットの雨林	
トリガー	0	٥
詳細設定 - 調整	使用できるデータがありません	

10. EM エージェントのバージョンアップを実施するコンピューター、または、グループを選択し、[OK]ボタン をクリックします。

保存先の設定			×
グル−プ	▲ <b>④ ✓</b> ○ <b>ジ</b> サブグループの表示 タグ…	マ フィルタの追加 ブリセット マ	
<ul> <li>▲ 한 화べて (2)</li> <li>▲ ●</li> <li>▲ ●</li> <li>▲ ●</li> </ul>	<ul> <li>□ △ コンビューター名 タグ</li> </ul>	<b>ステータ</b> ス ミュ モミ 前回の接続	<b>P</b> 5 (2)
V 🗅 LOST+FOUND (2)	192.168.1	✔ 更新 2022年12月5日 10:43:28	0
<ul> <li>✓ Y Windows コンピューター</li> <li>✓ Y Linuxコンピューター</li> </ul>	□ 🖽 🖽 🔀 😵 🗤 🗤 19	✔ 更新 2022年12月5日 10:43:07	0 0
─ ✓ 🕅 Mac コンピューター			
🛅 古いモジュールのデバイス			
▶ 古いオペレーティングシスラ			+
📄 問題のあるデバイス			© 1 🕥 😂
1/29 アクティベーションされてし			
ターゲット名	ターゲット説明	ターゲットタイプ	٢
LOST+FOUND		静的グループ	
創業 「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」の「」」の「」の「」」の「」の「		σκ	キャンセル

11. [続行]ボタンをクリックします。

新しいトリガーの追加 タスク > エージェントのパージ	ョンアップト!	リガー		
基本対象		ターゲットの追加 ターゲット・	の削除	
トリガー		ターゲット名	ターゲット説明	ターゲットタイプ
詳細設定 - 調整				静的グループ
		戻る続行 終了	キャンセル	

[トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。
 ※本手順では「即時」を選択します。[終了]ボタンをクリックします。

新しいトリガーの追加 タスク 〉 エージェントのパージョ	iンアップトリガー
基本 対象 トリガー	<b>i トリガータイプ</b> □□時 ~ □□時実行
詳細設定 - 調整	<b>有効期限 ⑦</b> 2023年8月13日 13:28:54 <b>i ターゲットのローカル時刻を使用</b> □
	戻る 続行 終了 年ャンセル



13. STEP4-1 で作成した「EM エージェントバージョンアップ完了グループ」に、クライアント端末が所属していることを確認します。

es		د م 🗅	、力すると検索を	開始 ⑦	クイックリン?	クマ	⊙ へげ マ	Ð	ログアウ > 9分	2F
		コンピューター :	<b>A O</b>	✔ ○ サブグループ	0表示 🔽 🖸	EMエージェ	ント(1)			
됴	コンピューター	グループ の	90-					<ul> <li>(+) ノイバンダの加速</li> </ul>	ц <u>т</u>	2
		へ 🗅 すべて (2)		△ コンビューター名	IP タグ	i z	前回の接続	ア 検出	os名	٢
álá					102		2024年1日11日 10:28:18 ●	0 0	Micr	tan
4		🛅 EMエージェントバージョンア… 🔞		J. S	192	•	20244174117410:28:18	0 0	WICT	lag
		∨ 🗋 Windows ⊐ンピューター								
~		∨ 🗋 Linux⊐>ピューター								
ę		✓ ☐ Mac □>ピューター	,							
Φ		タガーの	,							
ዮ										

以上で、EM エージェントのバージョンアップは完了です。

# 9.【STEP6】 クライアント用プログラムのバージョンアップ

#### STEP6-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、EES V12.X と EEA V12.X の動作要件を確認します。
 <ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス 動作要件>
 •ESET PROTECT Entry オンプレミスをご利用のお客さま

 https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html
 •ESET PROTECT Essential オンプレミスをご利用のお客さま
 https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

#### STEP6-2.クライアント用プログラムのバージョンアップ

1. [タスク]より、[新規作成]をクリックし、[クライアントタスク]を選択します。

es	PROTECT ON-PREM		ويلا كل 🗘	ると検索を開始	⊘ % ⊽	0 ~	ス ログアウト 、900
		タスク	:		アクセスグループ 選	R 🏦	
G		タスクタイプ	Q	クライアントタ… (2)	\$Ø		
A		^ ▶ クライアントタスク	÷.	名前	タグ	ス 説	明 夕 進 ③
		> ▷ ESETセキュリティ製品					
	タスク	SET PROTECT					
		✓ № 05					
		~ ▶ フルディスク暗号化	-				
		タヴ	Q				
			~				
			カリストを確	+ クライアントタスク	]∙]		
		認し、すばやくフィルタリ	ングできま	+ サーバータスク			• · ·
		9.		新規作成 マ	<del>779</del> 32 ▼		⊠ © 1 ⊙ 😂

2. [基本]を展開し、以下の通り設定します。

その後、[続行]ボタンをクリックします。

名前	任意の名前(例: V12 バージョンアップタスク)
説明	任意で入力
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ソフトウェアインストール

クライアントタスク タスク > V12バージョンアップ	Î970	
基本 ▲ 設定 サマリー	名前         V12パージョンアップタスク         タグ         タグを選択         説明         タスク分類         すべてのタスク         タスク         ソフトウェアインストール	~ ~
	戻る 続行 終了 キャンセル	

3. [設定]を展開します。「リポジトリからパッケージをインストール」を選択し、オペレーティングシステムを 選択します。

「リポジトリからパッケージを選択」の「<選択>」をクリックします。

☆↑ ▲ 説走 サマリー	
	ESETライセンス ③ 湖尺 インストールバラメータ ③  必要なときに自動的に再起動

4. バージョンアップする製品を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

# <注意> バージョンアップする製品は、お客様のご利用されているライセンスに合わせた製品を選択します。 ・ESET Endpoint Antivirus + ESET Server Security : ESET Endpoint Antivirus を選択します。 ・ESET Endpoint Security + ESET Server Security : ESET Endpoint Security、または ESET Endpoint Antivirus を選択します。 ※製品選択を間違えないようご注意ください。 ※以下は ESET Endpoint Security を選択した際の画面例です。 ※バージョンは最新のものが選択されます。[その他の設定をカスタマイズ]を展開することで 選択されているバージョンの確認や変更が可能です。

製品を選択	$\times$
ESET Endpoint Antivirus	
ESET Inspect Connector	
ESET Endpoint Security	
ESET Full Disk Encryption	
ESET Server Security for Microsoft Windows Server	
日本語	
その他の設定をカスタマイ ズ	
	ОК



5. ESET ライセンスの「<選択>」をクリックします。

クライアントタスク	
タスク 〉 V10バージョンアップタスク	
	ESETライセンス ③
基本	<b>進択</b>
設定	
-050	保護の設定
	i ESET LiveGrid®フィードバックシステム
	✓ ESET LiveGrid ◎フィードバックシステムを有効にする(推奨)
	i 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出
	☑ 望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を有効にする
	インストールパラメータ ③
	必要なときに自動的に再起動
	度る         結行         其丁         キャンセル

- ライセンス選択画面では[^]を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。
   ※ご利用されている管理プログラムによっては、以下のエラーメッセージが表示され、作業が進まなくなってしまう場合があります。
  - ◆タスクの作成に失敗しました:ライセンスサーバーへの接続に失敗しました 上記エラーが表示された場合、「キャンセル」ボタンよりタスクの作成を中止後、再度タスクの作 成を実施してください。その際、本手順の 5~6 にてご案内している ESET ライセンスは選択せ ずに作業を進めてください。

ライセンスを選択し	<i>τ&lt;</i>	ださい				×
タグ	Q	ステータス 🔺 🛛 🗸 🕕 😣	製品名			
		ライセンスタイプフラグ	♥		(⊕ フィルタの追加	YO
		所有者名	ライセンスユーザー	連絡先	製品名	٢
	-					
$\bigcirc$						
ここでは、適用された タグのリストを確認						
し、すばやくフィルタ リングできます。						
		4				,
					ОК =+7>-	tu

「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れます。
 その後「続行」をクリックします。

クライアントタスク タスク > V10バージョンアップタスク	
基本	ESETライセンス ③
設定	
サマリー	マ エンドユーザーライセンス契約に同意し、ブライバシーボリシーを承諾します。
	保護の設定
	i ESET LiveGrid®フィードバックシステム
	✓ ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨)
	i 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出
	✓ 望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を有効にする
	インストールパラメータ ⑦
	必要なときに自動的に再起動
	戻る 続行 キャンセル

8. 「サマリー」の内容を確認し、問題がなければ[終了]ボタンをクリックします。

クライアントタスク タスク > VI1バージョンアップタスク	
基本 設定 サマリー	基本 名前 V11パージョンアップタスク 2008
	<b>タグ</b> タスクの硬類 ソフトウェアインストール
	ソフトウェアインストール設定 ESETライセンス インストールするパッケージ
	最新バージョンのインストール はい
	展る 続行 終了 キャンセル

9. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



10. [基本を展開し、任意のトリガーの説明(例: V12 バージョンアップトリガー)を入力します。

新しいトリガーの追加 タスク > V12 バージョンアッ	<i></i> プトリガー
基本	トリガー説明
▲ 対象	▶ V12 バージョンアップトリガー
トリガー	
詳細設定 - 調整	
	戻る 続行 終了 キャンセル

11. [対象]を展開し、「ターゲットの追加」を選択します。

新しいトリガーの追加 タスク > V11パージョンアップトリガー		
基本 ▲ 対象	ターゲットの追加ターゲットの削除	•
<b>トリガー</b> 詳細設定 - 調整		使用できるデータがありません

12. バージョンアップするクライアントが所属するグループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

保存先の設定			×
グループ ♀ ※	▲ <b>0</b> ✓ ○ <b>サブグループの表示</b> タグ	マフィルタの追加	プリセット マ
▲     ▲       ▲     ▲       ▲     ▲	△ コンビューター名 タグ	<b>ステータ</b> ス ミュ モミ	前回の接続  ③
✓ ✓ LOST+FOUND (2)	192.168.1	✓ 更新	2022年12月5日 11:10:28
○ ↓ □ Linuxコンピューター	19	✓ 更新	2022年12月5日 11:22:27
<ul> <li>○ Y Mac J シビューター</li> <li>○ 古いモジュールのデバイス</li> </ul>			•
1 / 29 This Action The Section 2010 1 / 29 ▼ 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			⊠ © 1 ⊙ 😂
ターゲット名	ターゲット説明	ターゲットタイプ	0
LOST+FOUND		静的グループ	
削除 すべて削除		[	OK キャンセル

13. [トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。

※本手順では「即時」を選択します。

[終了]ボタンをクリック	します。
新しいトリガーの追加 ^{タスク} > V11パージョンアップト	<b>ト</b> リガー
基本	i トリガータイプ
対象	即時 即時実行
ドリカー 詳細設定 - 調整	有効期限 ⑦
	2023年12月29日 14:33:05
	i ターゲットのローカル時刻を使用

基本	i トリガータイプ
対象 トリガー	<b>即時</b> ~ 即時実行
詳細設定 - 調整	<b>有効期限 ⑦</b> 2023年12月29日 14:33:05 <b>i</b> ターゲットのローカル時刻を使用
<参考>	戻る 統行 終了 キャンセル

タスクの実行により、クライアント端末からインターネットへバージョンアップ実施のための通信が発生します。ネットワークの負荷を懸念される場合は、グループやクライアントごとに実行時間を分散することをご検討ください。

- 14. 「コンピューター」より、STEP4-1 で作成した動的グループに、バージョンアップしたクライアントが所属 していることをご確認ください。
  - ※バージョンアップ後は再起動が必要なため、最初は赤色のアラートで表示されます。

その場合は、クライアントの再起動を行ってください。

85	PROTECT ON-PREM		Φ	Qマ コンピューター名			
==		コンピューター	:	A 0 V 0	サゴグループの表示 💟	10 051	アント用(1)
ß		グループ	م	00	Ea-F X		
▲		へ 凹 すべて (2)		A 3283	-9-8 1971	レスタグ	ステ 前日
		◇ 副 会社 (0)			197.12		A 202
		C LOST+FOUND (2)					-
		のエージェンドハージョンアッ     の     フライアント用プログラムバー	0				
- 10							

15. 再起動後、コンピューターの「詳細」をクリックします。

es	PROTECT ON-PREM			↓ 🔎 入力すると検索を開始	
		コンピューター :		1 詳細	☐ LOST+FOUND (2)
'G		グループ ふ	,	○ 検査 ↓ ○ 検査 ↓ ○ ペットワーク開始	→ 詳細フィルター
A		へ 🗅 すべて (2)		の RDP経由で接続	>アド タグ ステ 前回の接続 ア 
ай.				〇 宅線 日	92.16 ✓ 2024年1月11日 10:42:18 ●
0e		┣Mエージェントパージョンアッ		<ul> <li>(i) y y y = 1ⁱ</li> <li>(ii) y y y = 1ⁱ</li> <li>(iii) y y y y y y = 1ⁱ</li> <li>(iii) y y y y y y y y = 1ⁱ</li> <li>(iii) y y y y y y y y y y y y y y y y y y</li></ul>	92.16 ✓ 2024年1月11日 10:42:09 ●
<b></b>		✓ □ Windows コンピューター ✓ □ Linuxコンピューター		<ul> <li>シスク</li> <li>ウェイクアップコールの送信</li> </ul>	
ø		∨ 🛅 Mac コンピューター		⊘ 管理	-
¢		🛅 古いモジュールのデバイス		Q 95	-
\$r		🛅 古いオペレーティングシステムのデバ		4× ミュート	
		> 問題のあるデバイス		自 監査ログ	

16. セキュリティ製品バージョンが「12.0」以上になっていることをご確認ください。

<ul> <li>i 載要</li> <li>◎ 設定</li> <li>○ ログ</li> <li>&gt; クライアントタスク実行</li> <li>● インストール済みアプリケー</li> </ul>	ダイナミックグループ のメンバー	/ダベて/Windows コンピュータ 一 パベて/Windows コンピュータ ー 常理可能な暗号化製品があり ません 詳細	号 17 c8 52 db CPU 2.50GHz RAM 4 GIB ストレージ 60 GIB中の空き30 GIB
▲ アラート 9 質問 0 検出と隔離 … 詳細	<ul> <li>すべてOK</li> <li>アラート</li> <li>未解決の検出</li> <li>前回の接続時間</li> <li>前回のブート時間</li> <li>前回の検査時刻</li> <li>検出エンジン</li> <li>モジュールステータ</li> <li>ス</li> </ul>	レ アラートなし 0 39 秒前 - 2024年11月25日 15:49:37 2 時間前 - 2024年11月25日 14:06:52 7 日前 - 2024年11月18日 11:56:53 30274 (20241125) 更新	<ul> <li>         ・ 認知およびライセンス ESET Endpoint Security 12 Endpoint Security for 2 年後 - 2026年12月1日 8:59: Windows</li> </ul>

### 10. 【STEP7】ESET PROTECT on-prem での管理開始

- 1. EP on-prem Web コンソール を起動して、ESET PROTECT on-prem に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
  - ※EP on-prem Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era

	ログイン		
IIII	<ul> <li>ネ ユーザー名</li> <li>合 パスワード</li> </ul>		1.4
	<ul> <li>日本語</li> </ul>	~	
	<ul> <li>ドメインユーザーとしてログイン</li> <li>マレチタブでのセッションを有効化</li> <li>ログイン</li> <li>パスワードの重要</li> </ul>		
	Progress. Protected.	th-	

2. 「コンピューター」より、管理しているクライアントのステータスが正常なこと、セキュリティ製品バージョン が最新であることが確認できれば、バージョンアップ完了です。

65	PROTECT ON-PREM			↓  ♪ 入力すると検索を開始。	_ 0	24				G
==		コンピューター :	▲ €	● ✔ 〇 サブグループの表	示 🔽 🗋 すべて	(2)	90			④ フィルタの道
G		グループ の				( v #	補フィルター			
A		∧ □ ₹<< <p>(2)</p>		△ コンビューター名	IP75 90	ステ	前回の接続	75	検出	OS名
		∩ LOST+FOUND (2)		0	192.16	× .	2024年1月11日 11:00:19 ●	0	0	Microsoft
		□ BMエージェントバージョンアッ			192.16	× .	2024年1月11日 11:00:09 ●	0	0	Microsoft
		V Windows コンピューター								
		✓ □ Mac コンピューター								
		□ 古いモジュールのデバイス								
		□ 古いオペレーティングシステムのデパ								
	*****	問題のあるデバイス								

